



第59回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

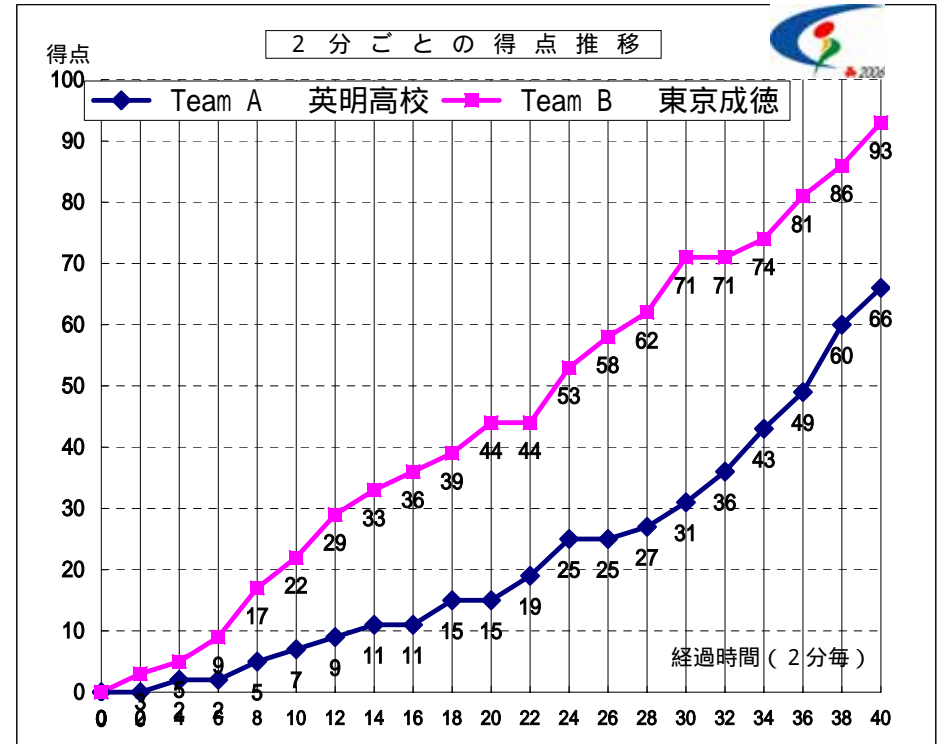
女子 3回戦

試合日	2006年8月4日
開始時間	15:00
会場	東大阪アリーナ
コート	Gコート
試合順	4 試合目

Team A		Team B
英明高校	66	93
香川県	(7 - 22 8 - 22 16 - 27 35 - 22)	東京都
		東京成徳

S	選手名	PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
			4	矢野 千尋	20	2	5	6		13	2	2					
5	松井 恵利納	18	0	1	7	28	2	2	2	0	5	5	2	4	0	2	40.0
6	東原 綾那	5	1	6	1	2	0	0	2	2	0	2	3	4	0	4	40.0
7	井上 愛	15	3	12	3	6	0	0	5	1	8	9	0	6	0	0	37.0
8	宮崎 成美	8	0	0	4	13	0	0	3	6	2	8	1	2	0	3	29.5
9	中川 みどり	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5
10	徳永 有香	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	川田 舞華	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	三谷 彩	0	0	0	0	5	0	0	4	0	2	2	0	1	0	2	11.0
13	鳥飼 由依	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	白井 利枝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	國方 夏希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	1	12	13					0
合計		66	6	25	21	68	4	4	17	11	29	40	8	19	0	13	200
RATE			24.0%		30.9%		100.0%										

Team B 東京成徳		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	有山 景子		13	1	4	4	7	2		4	2	1					
5	石川 聖菜	4	0	0	2	4	0	0	0	3	1	4	1	2	0	4	10.5
6	山田 菜美	18	0	0	8	10	2	3	0	6	8	14	2	1	0	7	23.5
7	天野 佳代子	12	0	0	6	8	0	0	0	2	3	5	2	1	2	1	18.0
8	川村 美穂	10	3	6	0	1	1	2	0	0	4	4	1	0	0	3	29.5
9	板坂 優貴	5	1	3	1	4	0	0	2	2	5	7	1	0	0	1	14.5
10	本田 雅衣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	光山 慈能	13	0	1	6	15	1	2	0	0	5	5	0	2	1	1	27.0
12	富田 夕貴	9	3	5	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1	1	4	10.0
13	間宮 佑圭	5	0	0	2	6	1	2	0	1	6	7	1	0	0	0	18.5
14	田尻 泰葉	2	0	0	1	5	0	1	1	3	0	3	0	0	0	2	10.0
15	水野 圭子	2	0	0	1	5	0	0	0	2	1	3	0	0	1	0	10.0
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	0	6	6					0
合計		93	8	19	31	65	7	14	6	20	46	66	15	9	6	27	200
RATE			42.1%		47.7%		50.0%										



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:30	29:07				
TeamB						

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

1・2回戦でスタート5人がほぼフル出場で接戦を勝ち上がった英明が、昨年度チャンピオン東京成徳にどんな戦いをするか興味のある3回戦。
 第1P英明は高さがない分寄りの早い1-1-2ゾーンディフェンスで東京成徳を苦しめるが、その頑張りになかなか得点にすることができない。一方東京成徳は苦しみながらも#7天野#11光山のセンターを使った攻撃で徐々にペースを掴み第1P終了。
 第2P英明は休むことなくディフェンスを頑張るがファウルトラブルに苦しむ。またオフェンスもシュートまで持って行くも、高さに阻まれ決めきれず、リバウンドも取らせてもらえない。東京成徳は頻繁なメンバーチェンジで厳しいディフェンスから速攻やセンターへの合わせ、リバウンドシュートで加点し余裕あるゲーム展開となる。
 第3Pベスト8入りをかけて何とか追いつきたい英明は#8宮崎#5松井の頑張りで反撃するが東京成徳はリバウンドからの速攻やセンターへの合わせ、#8川村の3Pなどでさらにリードを広げ追いつけを許さない。
 第4P英明は40点も差をつけられても諦めることなく果敢にゴールを狙う。#4矢野#7井上の5本の3P、#4矢野#5松井のドライブインやジャンプシュートでこのピリオドだけで35点も取るが及ばず試合終了。
 昨年度チャンピオン東京成徳の高さが勝負の鍵となる試合であった。3試合連続ほぼフル出場で動き回った英明高校の選手に拍手を送りたい。

主審	大家 一	副審	安井 俊行	戦評	佐藤 亜紀子
----	------	----	-------	----	--------

記録 東大阪市立日新高等学校バスケットボール部